

## ● 巾着網(中部標本船)

○カタクチイワシは、1月・2月・4月・6月に平年を上回る漁獲があり、特に、7月・8月は顕著であった(図1)。

○マアジは、周年低調な漁獲であった(図2)。

## ● 機船船びき網(南部標本組合)

○イワシシラスは、5月・6月・7月・8月・12月に平年以上の漁獲があった(図3)。

○イカナゴシラスは、平年を大きく下回る漁獲であった(図4)。

## ● サワラ流し網(南部標本組合)

○サワラは、5月と8月に平年以上の漁獲があったが、9月以降はほぼ平年並の漁獲であった(図5)。

## ● アナゴかご(中部標本組合)

○マアナゴは、1月～3月と5月～8月に昨年を上回る漁獲があったが、10月以降は漁獲がなく休漁した(図6)。

## ● 小型底びき網

### 石桁網(中部標本組合)

○シタ類は、ほぼ平年並みの漁獲であったが、昨年より減少した(図7)。

○マコガレイは、年間を通じて低調な漁獲であった(図8)。

○メイタガレイは、7月を除いて平年以上の漁獲であった(図9)。

○ヒラメは、1月～6月にかけて平年を上回る漁獲があった(図10)。

○オニオコゼは、1月・3月・4月と12月に漁獲量が増加した(図11)。

○マゴチは、ほぼ周年平年以上の漁獲があった(図12)。

○ネズヅポ類(がっちょ)は、5月を除いて平年以下の漁獲であった(図13)。

○キスは、年間を通じてほぼ平年以上の漁獲があった(図14)。

図1

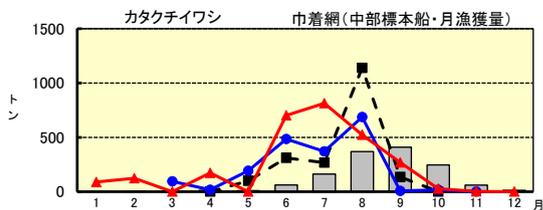


図2

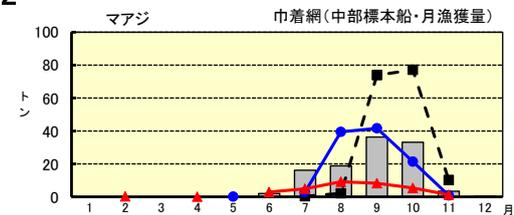


図3

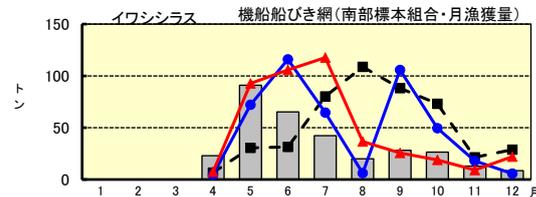


図4

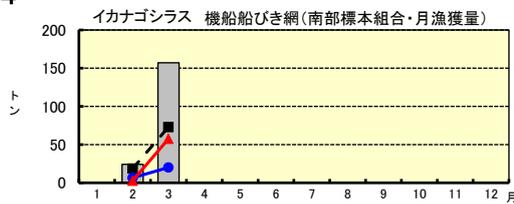


図5

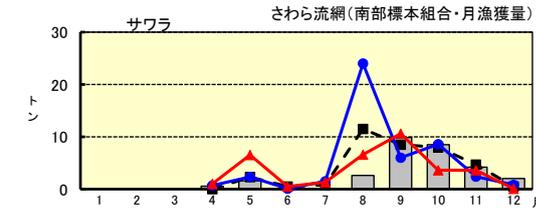


図6

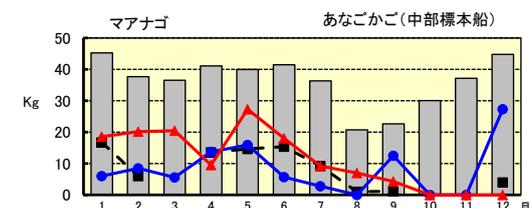


図7

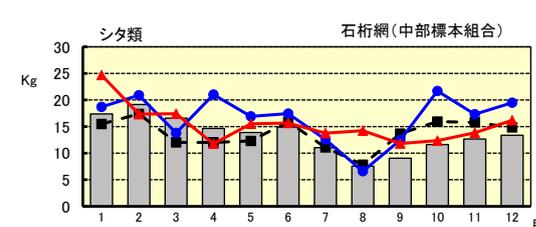
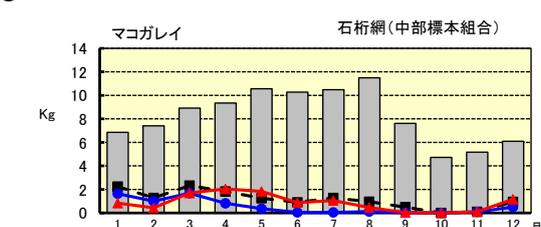


図8



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。注:図1、図2、図3、図4、図5は、月漁獲量(トン)を示す。

■ 平年値    ▲ 平成26年    ● 平成25年    ■ 平成24年

平年値は、昭和59年～平成11年までの平年値を使用した。

図9



図10

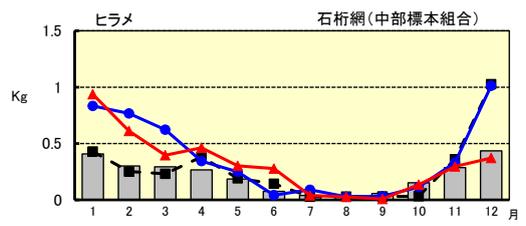


図11

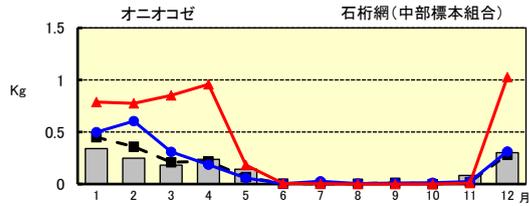


図12

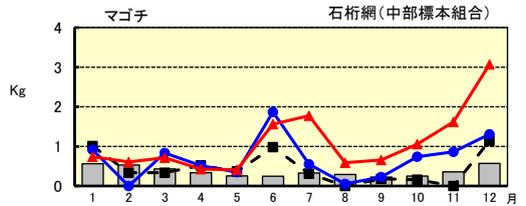


図13

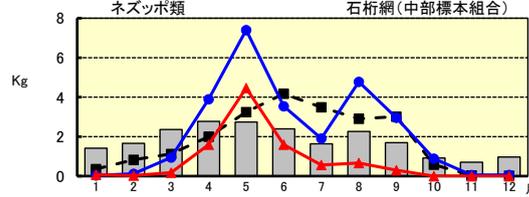


図14

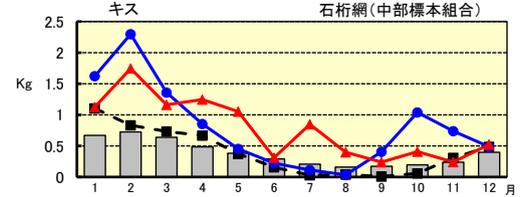


図15

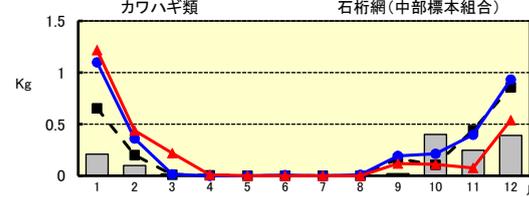


図16

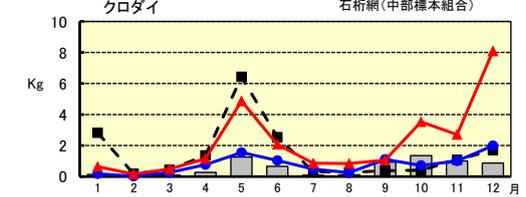


図17

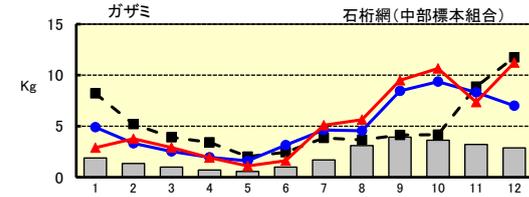


図18

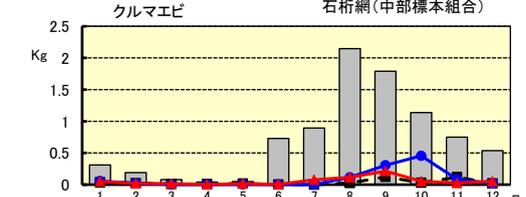


図19

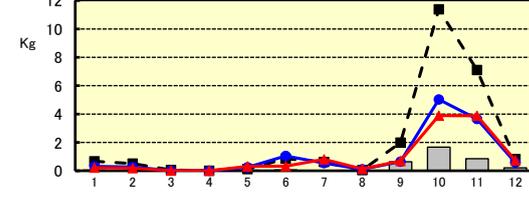


図20

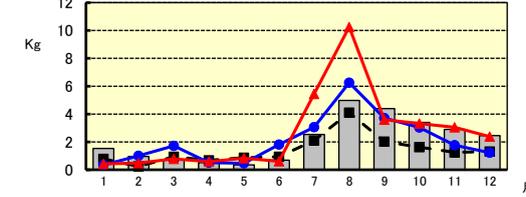


図21

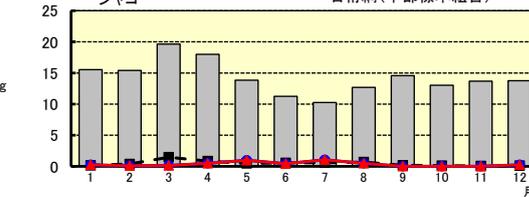
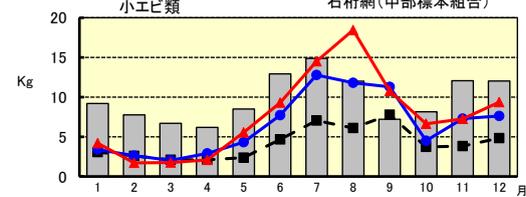


図22



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ▲ 平成26年      ● 平成25年      -■- 平成24年

平年値は、昭和59年～平成11年までの平年値を使用した。

- カワハギ類は、1月・2月は昨年並みの漁獲であったが、10月以降は昨年以下の漁獲であった(図15)。
- クロダイは、ほぼ周年平年・昨年以上の漁獲があった(図16)。
- ガザミ(わたりがに)は、周年平年以上の漁獲があり、9月以降は平年を大きく上回った(図17)。
- クルマエビは、周年低調な漁獲であった(図18)。
- クマエビ(あしあか)は、10月～12月にかけて、平年以上の漁獲があった(図19)。
- ヨシエビ(しらさ)は7月・8月に漁獲が急増したが、9月以降はほぼ平年並の漁獲であった(図20)。
- シャコは、周年低調な漁獲であった(図21)。
- 小エビ類は、ほぼ昨年並の漁獲であったが、8月は昨年を大きく上回った(図22)。
- コウイカ類は、9月～11月にかけて漁獲が急増した(図23)。
- マダコは、周年低調な漁獲であった(図24)。
- アカガイは、5月・6月に貝毒が発生し出荷規制があったが、他の月は平年を大きく上回る漁獲があった(図25)。
- トリガイは、2月～4月と6月に漁獲が急増したが、4月後半～5月下旬にかけて貝毒が発生し、出荷規制があった(図26)。

図23

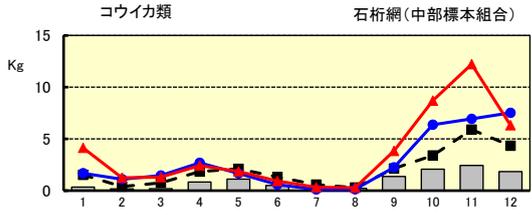


図24

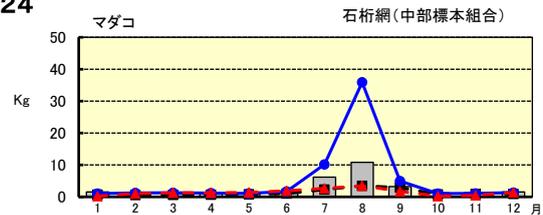


図25

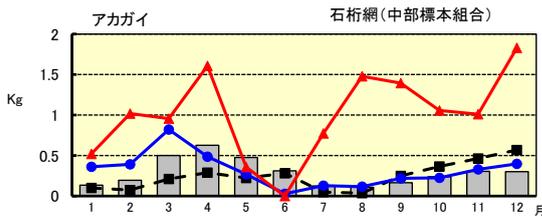
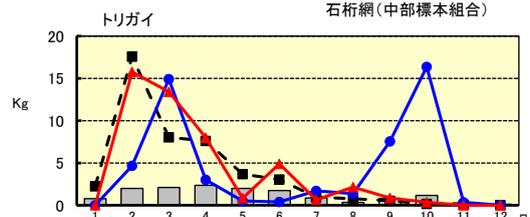


図26



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ▲ 平成26年      ● 平成25年      -■- 平成24年

平年値は、昭和59年～平成11年までの平年値を使用した。

● 小型底びき網

板びき網

- 中部のマダイは、4月以降平年を大きく上回る漁獲量であった(図27)。
- 中部のスズキは、周年ほぼ昨年並みの漁獲量であった(図28)。
- 中部のアジ類は、4月・5月は好漁であったが、他の月は平年以下の漁獲量であった(図29)。
- 中部のクロダイは、10月以降昨年、平年以上の漁獲量があった(図30)。
- 中部のハマは、周年平年以上の漁獲量であった(図31)。
- 中部のシログチは、8月以降ほぼ平年以上の漁獲量であった(図32)。
- 中部のtachiuoは、ほぼ周年昨年、平年以上の漁獲量であった(図33)。
- 中部のマナガツオは、ほぼ平年以上の漁獲であったが、昨年以下の漁獲量であった(図34)。
- 中部のイボダイ(うぼげ)は、昨年、平年以下の漁獲量であった(図35)。
- 中部のジンドウイカ(ひいか)は、昨年並か昨年以下の漁獲量であった(図36)。
- 中部のコウイカ類は、10月以降昨年以下の漁獲量であった(図37)。
- 中部のマダコは、7月～9月は昨年を下回る漁獲量であった(図38)。
- 南部のサメ類は、10月以降昨年、平年以上の漁獲量であった(図39)。
- 南部のキスは、3月・4月に漁獲が多くなった(図40)。
- 南部の小エビ類、5月～10月にかけて昨年を上回る漁獲量であった(図41)。
- 南部のコウイカ類は、9月～12月にかけて、ほぼ増加傾向で推移したが、11月に一時的に減少した(図42)。

図27

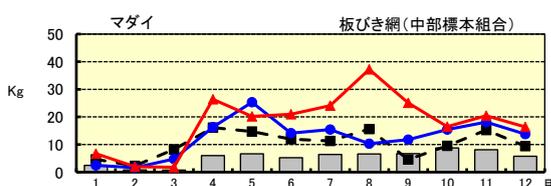
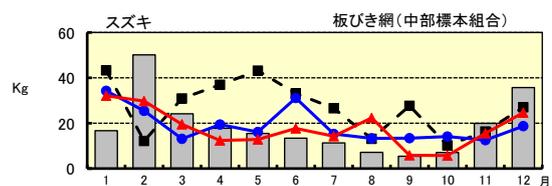


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ▲ 平成26年      ● 平成25年      -■- 平成24年

平年値は、昭和59年～平成11年までの平年値を使用した。

図29

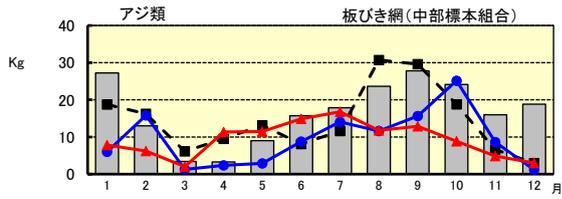


図30

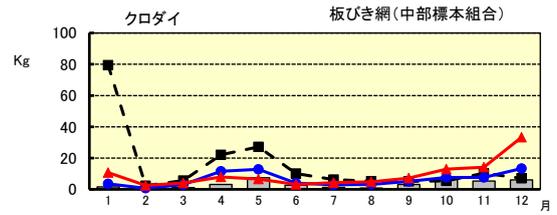


図31

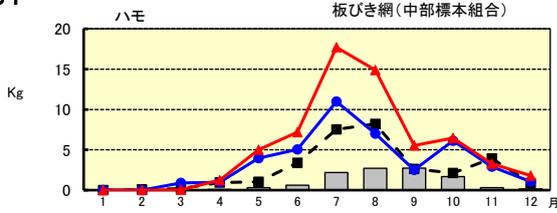


図32

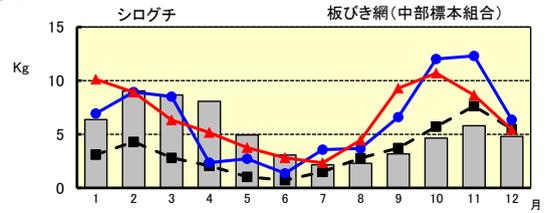


図33

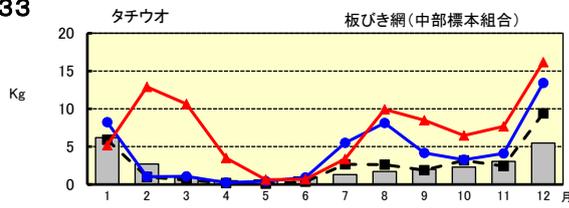


図34

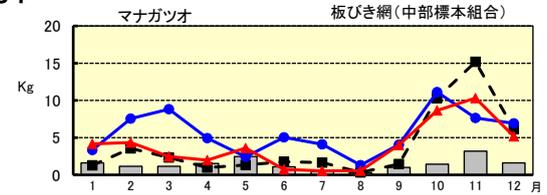


図35

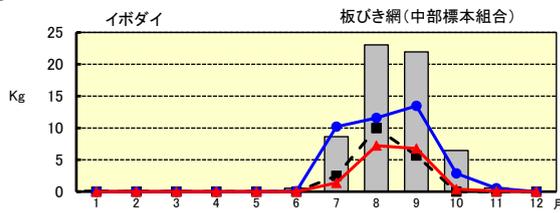


図36

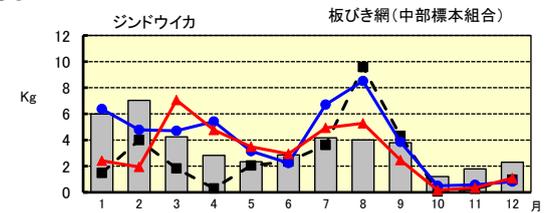


図37

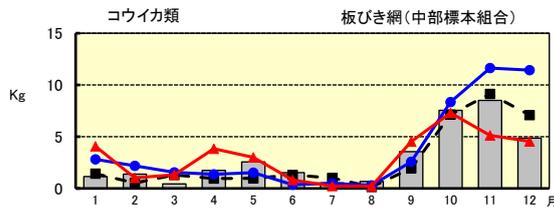


図38

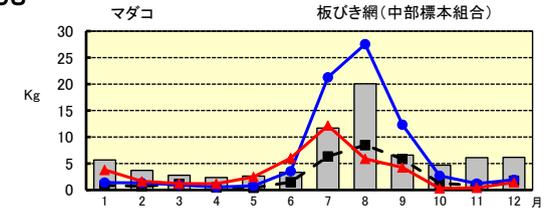


図39

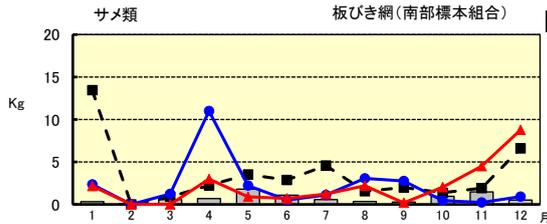


図40



図41

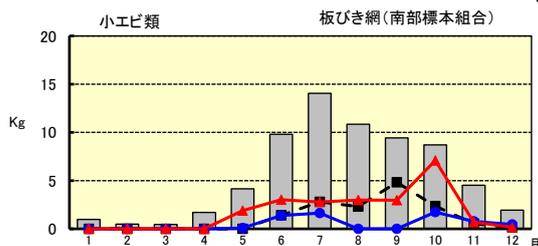
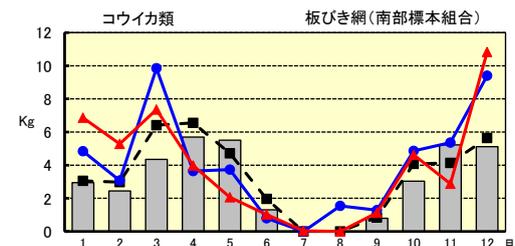


図42



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値      ▲ 平成26年      ● 平成25年      -■- 平成24年

平年値は、昭和59年～平成11年までの平年値を使用した。